

式第 6 号(第 2 条関係)

委員会等の会議録

1	会議名	令和6年度第2回愛南町地域包括支援ネットワーク懇話会	
2	議題	(1) 健康課題と介護予防事業について (2) 地域課題と生活支援体制整備事業について (3) 医療・介護連携の課題と在宅医療・介護連携推進事業について (4) 消費者安全確保地域協議会について	
3	開催日時	令和7年3月10日(月) 18時30分から20時00分まで	
4	開催場所	愛南町役場本庁3階 大会議室	
5	傍聴者数	0人	
出席者			
6	委員氏名	伊藤 孝徳、高橋 啓、村上 晃司、松本 典昭、吉田 英史 島内 弘美、濱 香代美、中尾 聡志、斎藤 弘文、森岡 知昭	
7	担当所属	所属名	地域包括支援センター
		担当職員 (職・氏名)	課長 大間知 伸一、所長補佐 田村 美和 所長補佐 石井 ゆかり、濱名 由佳 上級保健師 船平 依里
8	その他の 出席職員	所属名	保健福祉課、高齢者支援課、商工観光課
		出席職員 (職・氏名)	課長 中川 菊子 所長補佐 山本 正浩 所長補佐 倉野 豊成 主査 金増 拓郎
議事内容(次ページから)			

発言者	発言内容
大間知課長	(開会挨拶)
田村所長補佐	この会議は、愛南町住民参画推進条例に基づき原則公開し、会議録をホームページ等で公開しますので御了承願います。 議事について、愛南町懇話会の設置及び運用に関する要綱第5条の規定により「担当課長その他の関係職員が議長となる」とありますので、これ以降の議題については大間知課長が議長を務めます。
大間知議長	それでは、議題(1)健康課題と介護予防事業について説明をお願いします。
石井所長補佐	(健康課題と介護予防事業について説明)
大間知議長	健康課題と介護予防事業について、御意見、御質問はありますか。
中尾委員	愛南町では糖尿病患者が多いということですが、その原因について考えられることはありますか。
石井所長補佐	外来医療費では、国保、後期高齢者医療とも一位は糖尿病となっています。その原因として考えられるのは、愛南町の住民は甘くて濃い味付けが好きということ、また、遺伝的な要素もあるかと思います。
村上委員	糖尿病の患者はたくさん診察しています。先ほど言われたように、糖尿病の原因というのは、遺伝的要因に加えて環境要因と言われています。BMI や家族歴、甘い物などの嗜好は関係しています。病院には糖尿病の患者さんが来られるので、健康な人との比較はできず、はっきりとしたエビデンスをもって言うことは難しいですが、確かに糖尿病の患者さんが多いというのは以前から言われている課題だろうと思います。
大間知議長	健康課題について、伊藤委員、何か御意見はありますか。
伊藤委員	特にありません。
村上委員	令和5年度は、令和4年度より脳血管疾患、心不全の新規発症が多く、令和5年度に新規に発症した人が仮に発症していなければ、医療費はこれだけで済んだということが分かりやすく良かったです。これは、経年的な変化というのは分からないのでしょうか。経年的に新規発症者の状況を見ていくことができたなら課題が見えてくるのではないかと思います。医療費については、心不全の治療は年々新しい薬も出ていて、治療も変わってきています。新しい高額な薬も積極的に使うと医療費はどん

発言者	発言内容
	どん上がっていくと、日々臨床をしていて思います。糖尿病についても新しい薬が出ていますし、そういうことも医療費が上がっている要因かと思いました。 このデータは何をベースにされているのですか。
石井所長補佐	KDB システムを活用してデータを抽出しました。
田村所長補佐	村上委員から、経年的に見ていくとより詳しく課題が見えるという御意見をいただきました。本町では、平成 18 年から介護予防事業に取り組んできましたが、KDB システムや e-Stat を活用して本町高齢者の健康課題を見てみたのは、今回が初めての試みでした。今回は令和 4 年度と 5 年度を比較してみましたが、データを遡ってどれくらいの経過が見られるのか等、更に分析を深めていけたらと思います。貴重な御意見をありがとうございます。
大間知課長	それでは歯科医師の立場から高橋委員、健康課題についてフレイル予防や口腔ケアの面から、何か御意見はありますか。
高橋委員	介護予防事業ではないですが、平成 29 年度から 31 年度の県立南宇和病院の会議(愛南地域医療人材確保、育成協議会ワーキング)から続いている「もぐもぐサポートチーム(愛南町摂食嚥下プロジェクトチーム)」という活動を続けています。町内の人にももっとその活動をお知らせしたいと思っておりますが、町外の人からはすごく注目されていて、多分全国的にも先進的な活動だと思います。フレイル予防ではデータを取ることが大事ですが、5 年以上データを取りながら活動しているという強みが愛南町にはあり、他の市町村よりもすごい点だと評価されています。
大間知課長	ありがとうございました。その活動を、町内の方々にも教えていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。 それでは、次に議題(2)地域課題と生活支援体制整備事業について説明をお願いします。
濱名保健師	(地域課題と生活支援体制整備事業について説明)
大間知課長	地域課題と生活支援体制整備事業について、御意見、御質問はありませんか。 森岡委員、何か御意見はありますか。
森岡委員	特にないです。
大間知課長	齋藤委員、何か御意見はありますか。

発言者	発言内容
齋藤委員	特にないです。
大間知課長	吉田委員は協議体に参加していただいておりますが、何かありますか。
吉田委員	はい、第1層協議体の委員長をしています。第1層協議体は、愛南町全体の困りごとや、高齢者が生き生きと過ごすためにはどうしたら良いかということを協議してきました。第2層協議体は、旧町村の地域単位で会議を開催したことによって、より生活に密着した地域課題が見えてきた状況があります。資料21ページにある①から③までの内容は、地域の生活に即した困りごととして出てきたわけですが、③の網代・魚神山地区の救急搬送の課題については、行政と住民(消防団)が手を携えた良い政策であると思います。しかし、現状としては、高齢者がドライバーに遠慮していたり、若かった消防団員も年をとって負担になっていたというの、へき地に住む住民の切実な課題として上がってきています。それらの課題に対しての答えはまだ出ていないのですが、住民と行政が一緒になって解決策を見出していけたらと考えています。
大間知課長	ありがとうございました。 この事業によって地域課題が浮かび上がってきたということで、出てきた課題については、一つでも解決に向けて取り組むことができるように努力していけたらと思います。
濱委員	資料21ページの①の課題の、車いすの方を搬送するときに施設の車が使えないかということですが、施設としては対応できるのではないかと思います。やはり町である程度ルールを作っていただかないと難しいと思います。他県や他市町の事例も参考にして使えるようにしたら良いのではないかと思います。
大間知課長	ありがとうございます。おっしゃるとおり、ちゃんとルールを作ってからでないといけないと思います。例えば、事故があったときにどうするか、運転手をどうするか等の課題があると思います。今後、先進事例等も研究しながら検討していけたらと思います。
大間知課長	それでは、議題(3)医療、介護連携の課題と在宅医療、介護連携推進事業について説明をお願いします。
船平上級保健師	(医療、介護連携の課題と在宅医療、介護連携推進事業について説明)
大間知課長	医療、介護連携の課題と在宅医療、介護連携推進事業について、御意見、御質問はありませんか。

発言者	発言内容
	島内委員、何か御意見はありますか。 島内委員 町外の医療機関との連携ということで、抗がん剤治療なら市立宇和島病院、脳梗塞の回復期リハビリテーションなら宇和島ジェイコー病院や徳洲会病院というように、ここ何年か宇和島の病院にカンファレンスに呼ばれることが多くなっています。 最近、末期がんで余命が後何日、何週間という段階にある事例の依頼が減ってきているように感じますが、それは、病院から早めに地域包括支援センターに相談があるなどの背景があるのでしょうか。 船平上級保健師 数は集計していないのではっきりしたことは言えませんが、実際に「がんと診断されたので」と窓口で相談に来る方がいらっしゃいますので、私の印象では、「がんと診断されたら今後のことを見据えて早めに地域包括支援センターに相談に行ってください。」ということ、医療機関から本人や家族に声を掛けていただいているのではないかと思います。 島内委員 相談実績が 212 件あって、その内必要な医療機関やサービスにつながった件数が 154 件で 72.6%ということで、早めに依頼されているのかなと思いました。ありがとうございました。 大間知課長 ありがとうございました。松本委員、何か御意見はありますか。 松本委員 特にないです。 大間知課長 医療介護連携ということで、先生方から何か御意見等ありますか。 村上委員 愛南町の人口減少は、高齢社会の最先端をいっているということを改めて認識しました。高齢者だけの世帯も 6 割だというデータについては、外来や救急をしても、緊急連絡先の子供は町外に住んでいるということがありふれているという印象があります。また、管外の救急搬送が 2 割というデータについては、消防からも年々管外搬送が増えていると聞いています。病院としては、以前は自分の所で診ていたものも、最近は早期に専門病院で治療をした方がよいという医療の流れもありますので、御本人や御家族等の要望に応じて対応をしている結果ではあります。 ICT の件ですが、5G のモデル事業は終了しましたので、地域での iPad 等の活用は終わりましたが、今後は 5G 遠隔医療支援システムとして、県立中央病院の呼吸器内科等の遠隔診療で連携を継続していく予定です。 後、最近の話題を提供しますと、感染症や看護師不足による

発言者	発言内容
	病棟の稼働病床が減っている状況があって、御迷惑をお掛けする場面が出てくることを懸念しています。稼働病床の回転をよくして、なるべく入院を受け入れられるようにするためには、施設や在宅の関係者に御協力いただいて、退院をとっていただくことも必要になると思いますので、その点をよろしく願います。
大間知課長	ありがとうございます。
伊藤委員	一番心配していることは、これから 10 年間をみても、75 歳以上の高齢者はほぼ横ばいですが、生産年齢人口は 3 分の 2 になります。ICT の活用や外国人人材などで対策も講じていますが、人材不足は倒産もあり得る深刻な状況です。医療や介護は人の手を伝わって温かみを感じるものなので、どう乗り切っていくかが課題だと思います。
森岡委員	人口減少の深刻な状況を改めて感じました。中村町長も人口減少のことを公約の一つに掲げられていますが、本当に何とかしないといけない課題だと思います。
大間知課長	ありがとうございます。
中川課長	医療、介護連携においては様々な課題がありますが、専門職の皆様は苦勞されながらも、それぞれの立場で連携しながら地域の方々を支えていただいていると思っています。 保健福祉課としては、関係機関にも御協力いただきながら病気の発症予防、重症化予防に取り組んでいます。医療、介護の人材不足の課題については、少しでも担い手不足が解消できればと、来年度には看護師等就職支援補助金事業についても予算計上しています。そういった制度についてもまた PR していきたいと思います。
大間知課長	ありがとうございます。 最後に、議題(4)消費者安全確保地域協議会について説明をお願いします。
金増主査	(消費者安全確保地域協議会について説明)
大間知課長	消費者安全確保地域協議会について、御意見、御質問はありませんか。
委員一同	(意見なし)
大間知課長	予定の時刻も近づいてまいりました。本日は活発な御意見をありがとうございました。以上で閉会します。

